

2月の呑川ー 生きもの、花々

(2022年2月末)

まん延防止法は3月中旬まで延長されそうですが、皆様お元気でしょうか？

◎ この時期、呑川には冬鳥として白サギ類やカモ類（コガモ、マガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、オオバン、オカヨシガモ）留鳥としてカルガモ、カワウが多く見られました。

今冬（2月）の呑川情報は全身が白いサギの紹介です。呑川にやってくるサギ類はダイサギ（全長90cm）、チュウサギ（全長68cm）、コサギ（全長61cm）、アオサギ（全長93cm）、ゴイサギ（全長57cm）の五種類です。ダイサギが例年5～6羽見られたのが今年は20～30羽の群れがやって来ました。白サギの群れにはダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギが混在しているようでした。チュウサギは夏鳥（4～11月）と云われています。ダイサギとチュウサギの違いは近くでないと見わけがつけにくい。口角の違いが説明されています。

今年の呑川は水質が改善されたためか、ボラの大群が良く見られ、野鳥にとって豊富な餌が集まる要因でしょうか。ボラを銜えたカワウは良く見かけましたがサギの採餌はあまり見られませんでした。サギは魚やエビ甲殻類を食すとあります。

日中、上流域の谷中橋から中流の太平橋の間を移動したりして、また早朝には池上橋の下に群れが見られました。本門寺の山側をコロニーにしている、川沿いの建物屋根や電線にも休んでいます。道路や樹木の葉が糞で白くなっているところも見られ、苦情が出ているようです。

（注、シラサギ、シロサギの名前のサギはいません。）



二国・池上橋 下部



本門寺・樹木上



樹木↑ダイサギ(アオサギ)



民家屋根↑サギ(カワウ)

* 写真提供 ダイサギ 1. 2. 3. 田代氏

* 参考資料 日本の鳥 300 叶内拓哉 文一総合出版



ダイサギ・1



ダイサギ・2



ダイサギ・3



コサギ



アオサギ



ゴイサギ

日蓮橋の右岸の植え込み壁には白鷺のレリーフが見られます。昔このあたりは水田が多くシラサギやツルなどが沢山渡ってきたと説明があり、さぎ苗の説明もあります。



日蓮橋付近緑道



シラサギレリーフ



さぎ苗説明レリーフ

◎2月に見られた花木と野草。



北野神社 白梅 (2月25日)



紅梅



本門寺・河津桜 (2月28日)



菜花

養源寺



オッタチカタバミ

花期は4~11月、2月

記: H.Y